

## 転校を繰り返す少女

本紙「校長最後の3月31日、心残りなく校舎に施錠させてもらった」で登場した元A中学校校長・当時某私立高校教頭先生から、お電話を頂いた。同高校2年の女子高校生の不登校の相談だった。その高校に出向いて、その教頭先生と本人、彼女の母親とお会いした。2学期が始まったばかりの9月1日の話である。

家族は、56歳の父親に52歳の母親、30歳の社会人の兄、22歳の大学生の兄、17歳の高校生の兄で、彼女はやっとできた女の子だった。前年の9月、彼女は友達とのトラブルで不登校になり、同年10月22日付けで、地元の県立高校特進科から当該私立高校に転校してきた。その私立高校に友達がいって、「いい高校だから」と言うので転校した、と彼女は言う。

ところが、その友達ともトラブリ、僅か7,8日出席して再び不登校になった。先にトラブルになった同県立高校の友達から紹介された同じ県立高校の彼氏とも、不登校を理由に連絡が取れなくなった。いや、彼女自身が連絡を取らなくなった、と言うのが正しい。彼女自身は「不登校生」と見られたくない、と言ってきた。だから、通信制高校転校は気が進まない、と言う。

しかし、既に当該私立高校では、10か月で僅か7,8日の出席では単位は取れず、留年が確定している。そこで私は、県立高校通信制課程と、県西部の寮のある私立高校、当フォーラムが提携する科学技術学園高校通信制課程・E—learningを紹介した。科学技術学園高校では、当該私立高校の定期試験を受験し、その試験結果のデータで1年の単位認定するとまで譲歩してくれた。

心理テストも採ると、父性P C（頑固親父性）37（100点中、以下同じ）、母性N P（お節介おばさん性）83、知性A（コンピューター人間性）27、感性F C（やんちゃ性）60、順応性A C（いい子ぶりっこ性）95だった。「密かに恋してる」ひきこもり型の不登校だった。即ち、優しい。いい子ちゃんでいたい気持ちが強く、常に人の顔色を伺う。人が自分のことをどう思っているか異常に気になり、敏感で神経質になり、外に出れず、ひきこもるのである。与えられた課題などはこまめにこなすが、気持ちの切り替えはそれほどうまくない。また、本来は相反する感性と順応性が共に高いと、「愛の虜のサイン」と言って、自分の感情が付出てしまう（感性の高さ）、且つ相手の気持ちが非常に気になる（順応性の高さ）「密に恋してる」状態である、と分析した。

その後数回の面談の結果、彼女は科学技術学園高校通信制課程・E—learning コースに転校することに決め、週3日当フォーラムに通い、1日3時間の学習がスタートした。

そして、毎月行われる燻製作りやカヤック体験などの野外活動にも参加し、同世代の仲間たちとの交流に積極的に参加した。また、翌年3月の下旬に沖縄本島で行われた大自然交流合宿にも参加し、同世代の仲間たちと群れ集い、シュノーケリングや琉球ガラス工芸、チームビルディング研修などの活動を行い、仲間を知り、己をも知り、コミュニケーション能力も身に付けた。

ここに沖縄の海で、彼女が女子リーダーと一緒にシーカヤックに乗り、微笑む写真がある。